

テーマ： 言語能力・情報活用能力の育成に向けて

～主体的に学び続ける力、自分の考えを分かりやすく伝える力の育成～

つきたい力

- ・自ら課題を見つけ、主体的に学び続ける力（問題発見・解決力）
- ・人や物との関わりの中で、自分の考えを深めたり広げたりする力（情報活用能力）
- ・自分の考えをわかりやすく相手に伝える力（コミュニケーション力・プレゼンテーション力）

取組みの概要・ポイント

- 自ら課題を見つけ、主体的に学び続ける力を育成するため様々な教科で情報カードを活用した取組み
- 新聞に親しむ機会、新たな本との出会い、家族で読書に親しむ場を提供するなど本に親しむ場づくりの取組み

具体的な取組み①「学校図書館を活用した授業づくり」

①図書館資料とICT活用のハイブリット
全ての教科等の授業や教科横断的な授業において、学校図書館活用の授業を行った。
（活用例：調べ学習・まとめ学習、読書活動、読み聞かせ活動など）また、図書館資料と

②情報カードの活用
学習活動の中では、複数の資料から情報を収集・比較し、内容を読み取るなかで「情報カード」を用いて整理・分析を行った。まとめたものや自分の考えは、模造紙やスライドを用いて、他者に表現・発表することを進めてきた。

- 「情報カード」ポイント
- ・図書を用いた場合は、出典元を明記する。
 - 本：署名、論文名、著者、出版社、出版年、利用したページ
 - インターネット：タイトル・作成者、情報を確認した日、URL、検索キーワード

情報カード		2022年10月20日
課題(テーマ)	知識の深い、レベルの高い、最新の資料を授業に活用し、学び続ける力を育てる。	
調べること	木の根の切り方（ノコギリ）	
記述内容	引用するときは「」をつけて書きます。 #ノコギリで木料を切る時 「みぞあは木料に深く、傷にくさずイメージ、ノコギリを強くにせたら優しくにせたら、角度は30°から45°くらいを目安に切るのがよい。ズムズムに音をたてるために、力をいれず切ることを意識する。」	
書名		
論文名		
著者		
出版社		出版年
利用したページ	P. ~P.	
タイトル・作成者	富士ホーム情報株式会社 遠藤 勝也	
情報を確認した日	10月20日	
URL	https://fujihomesho.co.jp/content/2142	
検索キーワード	木の根をノコギリで切る	

③授業で活用した図書館資料のリスト化
各教科等の授業で用いた図書館資料は、データベースとして記録・集積し、今後同単元の授業で活用できるようにしておく。（学校図書館だけでなく、外部図書館で借りた資料も含む）

具体的な取組み②「本に親しむ場づくり」

○図書館への新聞排架
学校図書館へ3紙（一般紙、中高生新聞、子ども新聞）を排架し自由に見られるようにした。職員室前に、その日のトピックを記したホワイトボードを更新するほか、学習につながる内容や進路の情報を図書館前に掲示するなどして、本では得られない新しい話題や新聞の活字に触れ、親しむ機会を増やした。



○古本市の開催
生徒に家で読まなくなって不要になった本を学校に持ち寄ってもらい、「古本市」を開催。気に入った本は、生徒が持ち帰ることができるようにした。生徒だけでなく教員の協力もあり、たくさんの本が集まった。多くの生徒が新たな本に出会い、読書に親しんだ。



○学校図書館の開放
学校公開等の保護者来校日に学校図書館を開放し、図書の貸出しを行えるようにした。家庭と連携することにより、家族で読書に親しんでもらうことにつながった。

取組みを通しての子どもの変容

- 成果
- ・図書とICTを併用することで、多くの情報から内容を精選し、相手に伝わりやすいようまとめたり、伝え合ったりする生徒の姿がたくさん見られた。
 - ・複数の書資料から、調べたい情報や記事を読み比べて、ロイロノートのカードに文字や写真を貼ってまとめる姿が見られた。
 - ・あるテーマの内容について、本を見ながら同じ班の人と意見を出し合い、内容の理解を深めていた。

質問項目	R4.7	R4.12
文章や資料などから読み取った情報をもとに自分の考えをまとめることができる	78%	80%
授業では目的に応じて自分の考えを話したり書いたりしている	86%	92%

その他の取組みはコチラ

